

書道部のページ ～さあ墨の世界へ

北海道帯広南商業高等学校

書道部 HP 通信

春号

こんにちは。北海道帯広南商業高校書道部です。最近の主な活動についてご紹介いたします。

◎書道パフォーマンス披露①～「帯広青年会議所新年交礼会」(1/4)にて

帯広青年会議所から依頼があり、書道パフォーマンスを披露させていただきました。このような世の中の状況下になって以降、私たちが書道パフォーマンスをする機会も得られないでいました。ですから、現有メンバーにとっては、初めて経験でした。まず、過去の先輩方の映像を見て、書く際の大きな動きや仲間との掛け声や動きの合わせ方など、練習ではかなり試行錯誤しました。

本番を無事にやり切ることができ、青年会議所の方からもお褒めの言葉もいただきました。普段の作品制作は個人の活動中心ですが、部の団結を深める貴重な機会となりました。



◎第39回南商書道部校外展開催!! (1/15・16)

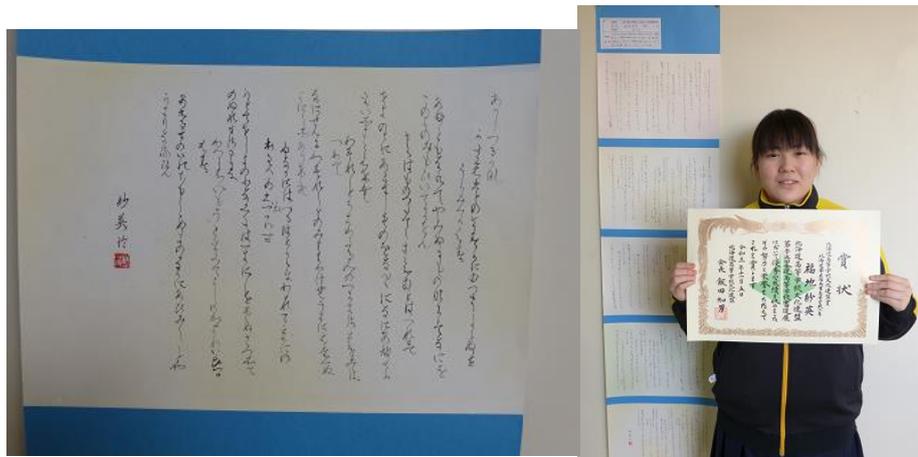
毎年1年の集大成として、開催しています校外展を1月15日・16日の2日間、帯広市民ギャラリーにて行いました。今回で39回目を数えました。部員総勢14名の作品に加え、全員による合作、藤丸に展示した大型の作品、校長・顧問からの賛助作品など計63点を展示しました。会期は、2日間でしたが、多くの方々に見ていただけ、本当にうれしく思っています。来年もさらに良い展示ができるよう、日々の活動をがんばっていきます。



◎福地さん全国大会へ作品出品～（3月末）

2年生の福地紗英さんが3月の締め切りに合わせ、全国高等学校総合文化祭に作品出品しました。全国高等学校総合文化祭は「文化系部活動のインターハイ」と呼ばれるものです。昨年秋にWEBでの開催となった、全道大会にて北海道代表17名の1人に選ばれました。選ばれたときは、仮名の「針切」の半切での臨書作品でしたが、今回の出品作は新たに書いた新作です。仮名の「小島切」の臨書で半懐紙12枚に及び、合わせて縦200cm×横90cmの額装にした大作です。限られた制作期間の中、自宅でも筆を執り、完成することができました。

大会は、東京にて8月に開催され、作品とはそこで再会することとなります。その瞬間を今から楽しみにしたいです。



▲写真は、全国選出が決まった時の作品の「針切」です。

◎書道パフォーマンス披露②～「高木菜那さん高木美帆さん オンライン町民報告会」(4/17)

にて

幕別町で行われた「高木菜那さん高木美帆さん オンライン町民報告会」にて書道パフォーマンスを披露しました。本校の先輩であるお二人に向けて、「どんな時でも前を向く 誰かができるなら自分もできる」「その真剣な姿は私たちの憧れと誇りです 勇気と感動をありがとう」「夢」と書きました。冒頭の部分である「どんな時でも・・・」はお二人が以前に、南商の後輩たちへと贈っていただいたメッセージを引用させてもらったものです。180cm×700cmの大きな紙でしたが、1週間かけて10枚以上練習しました。当日は、緊張しながらも、練習で確認したことをしっかりと会場で表現することが出来ました。

部長の3年赤部桃花さんは「部員一同、心を込めて精一杯パフォーマンスをさせていただきました。書道パフォーマンスをとおして、高木菜那先輩、高木美帆先輩へ感謝を伝えることができ、とても貴重な経験となりました。」と話していました。お二人からも「感動して涙が出そうになりました」「書道という、やっている分野が違うけれど刺激をもらいました」と声をかけていただけ、大変感激しました。

当日の様子は、幕別町公式YouTubeにて録画配信されており、視聴可能です。ぜひ、ご高覧ください。

ださい!



◎高文連支部展・書の甲子園出品に向けて

現在、高文連支部展と書の甲子園への出品に向けて制作しています。それぞれ、作品の規格が違うのと締め切りまで時間に余裕があるので、まだまだ試行錯誤中です。ただ、このあと1学期期末考査や学校祭などで慌ただしい時期があります。特に高文連支部展の締め切りは8月の初めですから、思いのほか、その時はすぐ来るはず。今の時点からしっかり積み重ねができるよう一日一日の活動を大事に制作していきたいです。

